

高知ファミリークリニック 2010年産科統計

〔1〕産科データ

分娩数 609例

初産婦 279例、経産婦 330例

母年齢:平均 30.9歳(17 ~ 41)

年	分娩件数	新生児数	多胎件数	37週未満新生児		34週未満新生児		2500g未満新生児		2000g未満新生児	
				数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)
2010年	609	609	0	8	1.3	0	0.0	33	5.4	2	0.3

	出生週数(w)別出生数	
	数	率(%)
<35	0	0.0
35	0	0.0
36	8	1.3
37 ≦ <40	344	56.5
40	168	27.6
41	87	14.3
42 ≦	2	0.3
合計	609	100.0

平均 39.7 ± 1.1 (36週2日 ~ 42週1日)

	出生体重(g)別出生数	
	数	率(%)
<1500	0	0.0
1500 ≦ <2000	2	0.3
2000 ≦ <2200	2	0.3
2200 ≦ <2500	29	4.8
2500 ≦ <3800	564	92.6
3800 ≦ <4000	9	1.5
4000 ≦	3	0.5
合計	609	100.0

平均 3052 ± 349 (1818g ~ 4274g)

年	硬膜外麻酔分娩		帝王切開		吸引分娩		鉗子分娩		会陰切開		誘発・促進剤使用		医療介入	
	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)
2010年	0	0.0	62	10.2	82	15.0	0	0.0	115	21.0	131	23.9	262	43.0

選択帝王切開	45
緊急帝王切開	17
合計	62

帝王切開の適応	例数	%
既往帝切後妊娠	33	53.2
骨盤位	13	21.0
児頭骨盤不均衡	1	1.6
分娩停止	8	16.4
胎児胎盤機能不全	6	9.7
妊娠高血圧症	1	1.5
合計	62	100.0

アプガー スコア	例数	
	1分	5分
0	0	0
1	0	0
2	2	0
3	2	0
4	3	0
5	3	1
6	4	1
7	14	5
8	74	11
9	486	481
10	20	109
合計	608	608

常位胎盤早期剥離・新生児搬送の1例を除く

- ・ 誘発・促進剤使用の131例中、分娩誘発は37例。・・・選択帝王切開を除いた547例の分娩誘発率は 6.8%
- ・ 既往帝切後妊娠、骨盤位の46例を除いた帝王切開率は16例、2.8% (=16/(609-46))
その16例の分娩週数は、39週が5例(39週分娩の 2.7%)、40週が5例(40週分娩の 3.0%)、41週が6例(41週分娩の 6.9%)
- ・ 41週分娩の87例中18例が誘発目的での入院で、その帝王切開率は1例、5.6%。自然入院の69例中5例が帝王切開で、その帝王切開率は 7.2%
- ・ 会陰切開は経膈分娩547例において
初産婦256例中108例(42.2%)、経産婦291例中7例(2.4%)
- ・ 会陰切開も裂傷もなかった症例は
初産婦 256例中40例(15.6%)、経産婦 291例中106例(36.4%)
- ・ 児性別・・・男314例、女295例
- ・ 光線療法・・・62例(10.2%)

2010年中の母体の高次医療機関への紹介・搬送例・・・ 87例

適応(疑い、既往含む)		例数
母体	切迫早産	22
	妊娠高血圧症	10
	双胎	5
	子宮頸管無力症	5
	前期破水	5
	切迫流産	2
	低置胎盤	2
	妊娠糖尿病	2
	前回常位胎盤早期剥離	1
	羊水過多症	1
	分娩停止(C/S目的)	1
胎児	後頸部浮腫	3
	単一臍帯動脈	3
	腎のう胞・水腎症	2
	IUGR	2
	胎児エコースクリーニング	1
合併症	子宮頸部細胞診異常	4
	高血圧症	4
	腎炎	2
	卵巣腫瘍	2
	甲状腺機能亢進症	1
	尿路結石	1
	回転性めまい	1
	不整脈	1
	四肢まひ(脳出血疑い)	1
	パニック障害	1
	硝子体出血	1
尖圭コンジローマ	1	
合計	87	

前期破水例の転帰

破水週数	転帰	破水前の状況
19	その後チェックプロム陰性となる。	初期子宮頸管ポリープ除去。前回28週早産。
23	その後チェックプロム陰性となり 36週から当院で管理し、正常分娩となる。	子宮頸管長短縮
28		絨毛膜下血腫、small GS
29	31週0日帝王切開、女児、1632g	初期子宮頸管ポリープ除去
34		前回35週PROM

〔2〕入院中栄養状況

年	新生児数	除外例		対象児数	人工乳追加		糖水追加		母乳のみ 数	完全母 乳率(%)
		数	率(%)		数	率(%)	数	率(%)		
2010年	609	15	2.5	594	36	6.1	51	8.6	523	88.0

(母乳のみの内、搾母乳追加 5例)

・ 除外例内訳・・・新生児搬送7例、産後母体搬送4例、その他4例。

・ 新生児搬送の内容

呼吸障害	3
不整脈	1
低出生体重児 1818g	1
21トリソミー	2
合計	7

・ 児が退院後他院入院

発熱	1
高ビリルビン血症	1
心室中隔欠損症	1
合計	3

・ 母親要因

搬送:癒着胎盤	1
搬送:A群溶連菌感染症	1
搬送:恥骨結合離解	1
搬送:産後発熱など心因反応	1
退院後:パニック障害	1
合計	5

・ 児紹介例 (上記除外例、および退院後の紹介)の紹介理由

心雑音	20
呼吸障害	3
チアノーゼ	1
不整脈	1
低出生体重児	1
体重増加不全	2
染色体異常疑い	2
多指症・奇形	4
母斑・血管腫	2
副耳	2
口唇裂	1
爪形成不全	1
HBs抗原陽性妊婦からの出生児	4
水腎症疑い	3
クレチン症の疑い	3
高ビリルビン血症	1
紅斑	1
ソケイヘルニア	1
発熱	1
not doing well	2
合計	56

〔3〕母乳率

A:対象全例について

年	対象児数	退院時							
		人工乳のみ		混合		母乳のみ		完全母乳	
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)
2010年	594	0	0.0	26	4.4	568	95.6	523	88.0

568名中7名に搾母乳追加

年	対象児数	2週間健診時						データ無 数
		人工乳のみ		混合		母乳のみ		
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	
2010年	594	3	0.5	36	6.1	552	93.4	3

データ無3例は未受診

552名中2名搾母乳追加

年	対象児数	1ヶ月健診時								データ無 数
		人工乳のみ		混合		母乳のみ		完全母乳		
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	
2010年	594	6	1.0	67	11.3	519	87.7	461	77.9	2

データ無2例は自宅住所で健診

519名中3名搾母乳追加

B:正常対象群(分娩週数が37週未満、または出生体重が2500g未満、または帝王切開例を除いた)504例については、

年	対象児数	退院時							
		人工乳のみ		混合		母乳のみ		完全母乳	
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)
2010年	504	0	0.0	18	3.6	486	96.4	454	90.1

486名中5名に搾母乳追加

年	対象児数	2週間健診時						データ無 数
		人工乳のみ		混合		母乳のみ		
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	
2010年	502	1	0.2	25	5.0	476	95.2	2

データ無2例は未受診

476名中1名搾母乳追加

年	対象児数	1ヶ月健診時							
		人工乳のみ		混合		母乳のみ		完全母乳	
		数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)	数	率(%)
2010年	504	4	0.8	49	9.7	450	89.3	403	80.0

450名中3名搾母乳追加

[4] 体重減少増加率(体重の%は出生体重に対しての減少増加の割合)

2010年	最低体重日		退院日		2週間健診日		1ヶ月健診日		
	日齢	増減率(%)	日齢	増減率(%)	日齢平均	増減率(%)	日齢平均	増減率(%)	増加量(g/日)
平均	2.6	-8.7	4.2	-6.3	12.2	3.7	31.8	32.1	41.4
標準偏差	0.9	2.6	0.8	3.7	1.9	8.3	2.5	13.8	13.0
最小	1	-17.1	1	-15.4	5	-23.5	24	-12.3	-0.1
最大	5	-1.5	11	9.7	20	40.2	47	75.4	76.1

退院時から1ヶ月健診までの体重増加量(g/日)別例数

増加量	数	%	増加量	数	%
<10	4	0.7	35-	82	13.9
10-	6	1.0	40-	94	15.9
15-	22	3.7	45-	104	17.6
20-	20	3.4	50-	91	15.4
25-	40	6.8	55-	44	7.4
30-	56	9.5	60-	29	4.9
			計	592	100.0

[5] 2009年の統計と2010年の統計の大きな違いは、

- ① 全体でも正常対象群でも、1ヶ月健診時の「母乳のみ」および「完全母乳」の率が大きく改善している。
- ② 経産婦の割合が高い。
- ③ 41週分娩例の帝王切開率が、これまでと違い、誘発例の方が、自然入院例よりも低い。

この間の取り組みの違いは、2009年10月1日から「助産師指導」を開始したことである。